

第37回 J J B F 埼玉県中学生選抜野球大会 要項

2021.07 版

1 目的

- 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社

4 期日

1st ステージ

☆多 3チームによるリーグ戦及び4チームによるトーナメント戦
各リーグ、トーナメントの1位のみが2nd ステージ進出

9/4 (土) 5 (日) 11 (土) 12 (日) 18 (土) 19 (日)

20 (月) 23 (木) 25 (土) 26 (日) 10/2 (土) 3 (日) 9 (土)
10 (日) 14日間

↓

2nd ステージ

☆多 POWER-LEAGUE 決勝トーナメント 1、2回戦・準決勝(2日間)
HOPEFUL-LEAGUE 決勝トーナメント準々決勝・準決勝(1日間)

10/16 (土) 17 (日) 23 (土) 24 (日) 30 (土) 31 (日)

11/3 (水) 6 (土) 7 (日) 13 (土) 14 (日) 20 (土) 21 (日)
13日間

↓

FINAL

☆多 POWER-LEAGUE 決勝 HOPEFUL-LEAGUE 決勝

11/23 (火) 予備日11/27 (土) 28 (日)

※出場チーム数により、大きく変更になる可能性があることをご了承ください。

5 リーグについて(表彰および上部大会について)

今大会は、「POWER-LEAGUE」と「HOPEFUL-LEAGUE」のどちらか一方を選択し、参戦ください。
両リーグ同時進行で大会を行います。

(1) 「POWER-LEAGUE」: 従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。

最大参加チーム数48チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝盾 賞状 **3位** 3位盾 賞状

◆ 「POWER-League」の**優勝チーム**および**上位入賞チーム**は**上位の大会**に推薦します。

現在、上位大会についての開催等は未定です。

(2) 「HOPEFUL-LEAGUE」: 野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく

(1, 2年生が15名以内)」「中学校から野球を始めた選手が多い」など

発展途上のチームによる大会。最大参加チーム数24チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝盾 賞状

◆ 「HOPEFUL-LEAGUE」の**優勝チーム**および**上位入賞チーム**は**上位の大会**に推薦します。

現在、上位大会についての開催等は未定です。

- 6 使用球およびバット ①M号球
 ②試合に際して、**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
 ③バット：JSBB の認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。

- 7 参加資格 県内中学校在籍または在住の中学生によって構成されたチーム
 また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

- (1) 1st STAGE 3チームリーグ戦（A、B、Cの3チームによる）

第1試合 A 対 B （審判Cチームから4名）
 第2試合 C 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）
 第3試合 C 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

4チームトーナメント戦（A、B、C、Dの4チームによる）

第1試合 A 対 B（Cから2名 Dから2名）
 第2試合 C 対 D（Aから2名 Bから2名）
 第3試合 勝ち 対 勝ち（第一試合負けから2名 第二試合負けから2名）
 第4試合 負け 対 負け（第一試合勝ちから2名 第二試合勝ちから2名）

- ※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人（顧問、コーチ、保護者）を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。
 ※審判費として、1会場3000円まで支払います。（3名×1000円）少額で申し訳ありませんが、よろしくお願いします。

- (2) 2nd STAGE

POWER-LEAGUE（16チームによるトーナメント1・2回戦 4会場／準決勝 2会場にて実施）

決勝トーナメント1、2回戦（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

第1試合 1回戦 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 2回戦 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準々決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

準決勝（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

第1試合 1回戦 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 2回戦 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）

HOPEFUL-LEAGUE（8チームによるトーナメント・準々決勝 準決勝 2会場にて実施）

決勝トーナメント準々決勝、準決勝（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

第1試合 準々決勝 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 準々決勝 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

- (3) F I N A L（POWER-LEAGUE HOPEFUL-LEAGUE それぞれ同日・同会場にて実施）

第一試合 POWER-LEAGUE
 決勝戦 本連盟より派遣

第二試合 HOPEFUL-LEAGUE
 決勝戦 本連盟より派遣

- 9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡しください。
- (1) 参加費 1チーム 4,000円
- (2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数
- ※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

- ① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。
- ② 100分を超えて新しいイニングには入らない。
- ③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は**引き分け**とする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク（**継続打順による0アウト1・2塁**スタートの特別延長戦）を行う。これを**2回**繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。
- ④ 投手の投球イニングは、**1日につき7イニングまで**とする。（タイブレークの場合は含まない）**※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。**

例

A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、A投手は、同日の試合では、あと1イニング（3アウト）登板することが可能である。（またB投手は、同日の試合では、あと6イニング（18アウト）登板することが可能である。）

※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げる事ができる。

④-特別：3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について（条件の平等化について）

7月○日（土） A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bの群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げた。

雨天のため、翌日に順延

7月△日（日） A 対 C Aは埼玉投手は投げられない。（ただし（リーグ戦はないが）タイブレークになった場合は投げられる。）

Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。

↓ **この場合？**

B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げる事ができる。

Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニングまで残り投げる事ができる。

- ⑤ コールドゲームは5回以降7点差とする。
- ⑥ ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には、別途指定する。
- ⑦ 打者、走者、コーチャーはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。
- ⑧ 最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。（本大会において**同一選手が複数のチームでの複数回の出場は認めない**。ただし、クラブチームに所属する者を除いて、単独チームの人数が12名以下になる場合、及び**女子選手に関する登録については、この限りではない**。その場合には、**事前に事務局に相談する**。）
- ⑨ 背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

⑩リーグ戦に関する規則（A, B, Cの3チームでのリーグ戦の場合）

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 第1試合の「敗者」とし、第3試合を「C」対 第1試合の「勝者」とする。

※ただし会場の都合で、会場のチームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b 会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点（勝利チーム勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。）の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー（振り逃げを含む）などで、

1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数=5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

1.1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。（ただし1チーム20名を超えて試合に出場することはできない。）

1.2 その他、お願い等

・この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。特に、上位大会の出場に関しては予め保護者への十分な周知をしておくこと。

・合同チームについては、チームでユニフォームが統一されていない場合の出場も可とする。ただし、上位大会に進出する場合は、出場する大会の規定に従うこととする。

・雨天以外（急な学校行事など）での日程の変更は行わない。都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、所定の様式に記入しメールにて連絡すること。それ以外での変更は配慮しない。（子どもたちが主役であるので、できるだけ努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。）

・大会申し込み、プログラム原稿については、必ず今大会のものを使用すること。尚、行の挿入や削除は行わないようにし、過去の大会のものをコピーしての使用もしないこと。

・組み合わせが決まった後の参加、不参加は認めない。

・毎回、会場校が少なく、組み合わせ作成に難航しています。

現行の【◎参加、会場校 ○参加のみ ×会場】新たに 調整次第で確保が可能△ を追加しております。グラウンドがかなり狭い等の物理的な理由は×で構いませんが、積極的に ◎や△でお願いしたく思います。

・何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 専務理事 森谷 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp